



～ありがとう これからも地域とともに～

兵庫丹波の森協会ニュース2017

丹波の森構想を推進するため、篠山市・丹波市の出捐により設立された（公財）兵庫丹波の森協会が、丹波の森公苑・丹波年輪の里・ささやまの森公園・丹波並木道中央公園を拠点として、地域の方々の「参画と協働」により2017年に実施した主要な取り組みや事業等をお知らせします。丹波の森づくり（地域づくり）への理解と関心を深めていただくとともに、今年の丹波の森づくりを振り返る資料として発行しました。事業に関するご意見等をお寄せください。

【新】は新規事業、【継】は継続事業です。

トピックス

【継】ウィーンの森親善訪問事業

7月4日から11日までの8日間、39人の参加を得て、第22回ウィーンの森親善訪問の旅を実施しました。

兵庫丹波の森協会は、丹波地域における自然や文化を大切にしたい美しいまちづくりを目指しています。今回は、森林行政を担っているオーストリア連邦森林・自然災害・景観研究研修センター（BFW）で、ウィーンの森づくりに誇りを持っている人々の取り組みについての研修を受けました。また、ウィーン市ヒーティング区（13区）を訪問し、交流のシンボルであるオオムラサキの卵・標本及びちぎり絵2点を区長に贈呈しました。

第22回ウィーンの森親善訪問と中欧周遊 世界遺産をめぐる旅

○期間：7月4日（火）～11日（火）

○訪問都市：

ウィーン（シェーンブルン宮殿見学、BFWにて研修、13区役所表敬訪問、ナポレオンの森に植樹された樫の木の見学、ウィーンの森見学、オペラ座、国会議事堂、ウィーン大学、市民公園など市内観光）

ブダペスト（漁夫の砦、マーチャーシュ教会、くさり橋など市内観光、ドナウ川ディナークルーズ）
プラハ（プラハ城、黄金の小径、カレル橋、旧市街など市内観光）



オーストリア連邦森林・自然災害・
景観研究研修センターでの研修



ウィーン13区表敬訪問
ちぎり絵「赤富士」「竹の春」贈呈

❶ 丹波の森玄関街路樹のエノキの成長

4月、丹波の森公苑玄関街路樹のエノキの葉が、これまでになく色鮮やかに、また大きく広がった形で出現しました。これまでは部分的にしか見られなかったことですが、この春、全てのエノキが息を吹き返したかのように、元気な姿を見せました。

気象条件の変化によるものか、根の成長過程において一定の障害を乗り越えたためか、原因は特定できませんが、エノキの成長が次の段階に移ったことがうかがえます。新年度の葉の成長に大きな注目が寄せられています。



害虫にやられた葉っぱ（2016年 夏）



街路樹のエノキ（2017年 春）

❷ 「シューベルティアードたんば」による被災地支援

仙台市立岡田小学校に楽器を贈呈

東日本大震災の被災地を応援するため、平成28年度シューベルティアードたんばの各コンサート会場で募金活動を行い、多くの方からご支援いただきました。集まった義援金で、コンサートグロッケンを購入し、宮城県仙台市立岡田小学校に贈呈しました。

今年の7月11日（火）には、シューベルティアードたんばから派遣したピアノ奏者の高橋麻子さんと、ティンパニー奏者の竹内将也さんが仙台市立岡田小学校を訪れ、楽器の贈呈式及びミニコンサートを行いました。児童の合唱とコラボしたり、グロッケンの音と映像を合わせたりするなど工夫を凝らしたコンサートを行い、代表の児童から「今日は素敵な音楽のプレゼントをありがとうございました。」「この楽器でこれから演奏する曲もきっと明るくなると思います。」とのお礼の言葉がありました。



仙台市立岡田小学校で楽器の贈呈



ミニコンサート

【アート・クラフトフェスティバル in たんば2017開催【丹波年輪の里】

全国各地から約190人のクラフト作家による木工や陶芸、ガラス、染織など様々なジャンルの作品が
出展し、アート・クラフトフェスティバルを開催しま
した。

約2万人の来場者があり、出展者と来場者同士の
交流が生まれました。

地域の文化力向上と、全国への文化情報の発信によ
り工芸・美術の振興を図る一大イベントとなりました。

○開催日：9月30日（土）、10月1日（日）



フェスティバル会場の様子

【新】 ささやまの森公園開園15周年記念植樹【ささやまの森公園】

ささやまの森公園は、平成14年に県内の「ふるさ
との森公園」の2番目として設置されました。県民の
参画と協働により里山の保全と創造を進め、交流やふ
れあいの場を提供するとともに人と自然が共生する
豊かな里山づくりを推進することを目標に開園しま
した。

里山の保全と創造というコンセプトのもと、特に来
園者が受講するプログラムは里山文化に関する内容
を展開し、先人がこの里山で育んできた文化をプログ
ラム化し、好評を得ています。

4月9日（日）の「春の里山まつり」では開園15周年記念植樹やしだれ桜の標柱の除幕式を行い、
683人の来場者で賑わいました。今後も、さらに多くの皆様にご来園いただきたいと願っています。



しだれ桜の記念植樹

【新】 丹波並木道中央公園入園者100万人達成！【丹波並木道中央公園】

平成19年10月14日にオープンした丹波並木
道中央公園が、10周年を迎えるとともに、来園者
100万人を達成しました。公園利用者や公園を支え
ていただいた地元の皆さんはじめ関係の方々に感謝
の意を表し、100万人達成のセレモニーを行いました。



入園者100万人記念セレモニー

森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざしました。

丹波の森大学公開講座で写真家 織作峰子氏の講演会を開催

平成29年度は「境界（ボーダー）を越える」を学習の基本のテーマに全10回の講座を展開しました。受講生51人が、最先端で活躍をされている講師の方々からテーマに沿った講義で学習をしました。

また、受講生と一般参加者が参加した公開講座では、写真家の織作峰子氏をお迎えし「ポジティブな考えで暮らしたい」と題して、元ユニバースとして撮られる側から、写真家として撮る側への転身、苦労、そこから生まれた生き方など貴重なお話をお聞きました。

○開催日：10月25日（水）

○場 所：篠山市民センター

○参加者：66人



丹波の森大学公開講座の様子

丹波篠山ひなまつり事業のコーディネート業務

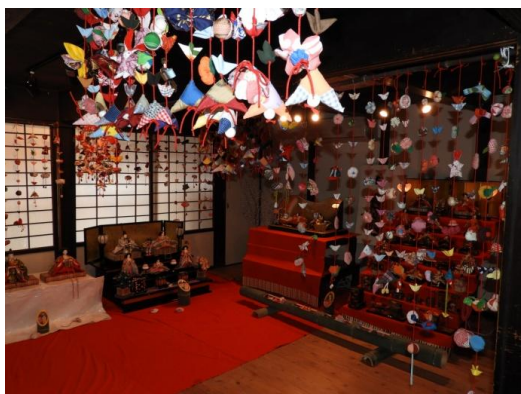
篠山で古来から続く「ひな飾り」を市内各所に飾り、伝統文化を継承していく「丹波篠山ひなまつり」が、開催されました。この催しは、まちづくり協議会など市内8地区10団体で構成する「丹波篠山ひなまつり実行委員会」が主催し、当協会は、実行委員会の事務局及び企画のコーディネートを務めました。

○開催日：3月18日（土）～26日（日）

○場 所：篠山市内8会場

（福住、日置、市野々、篠山チルドレンミュージアム、
雲部、篠山城下町、丸山、今田）

○来場者：約15,000人



福住会場の雛飾り



丹波篠山ひなまつりのポスター

❶ フィールドミュージアムをFM805たんばで紹介！

たんばコミュニティエフエム（FM805MHz）を活用して、10月～12月にかけて企画放送を実施し、まだまだ馴染みの無い「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム」や「恐竜化石」「篠山層群」「フィールドミュージアムの楽しみ方」などについて、関係者に登場していただき分かりやすく解説いただきました。

タイトル：「てくてく丹波恐竜博物館」

配信内容：①フィールドミュージアムって何？

②恐竜・哺乳類化石等の不思議！

③篠山層群を歩いてみよう！

④イベント情報

のコーナーを設けた企画番組を配信しました。

10月5日（木）～12月28日（木）まで

毎週木曜日 午後7時～（約30分放送）



収録の様子

❷ 第6回秋の丹波なみきみちまつり2017「収穫祭」

&開園10周年記念セレモニーの開催【丹波並木道中央公園】

「第6回秋の丹波なみきみちまつり2017」が10月1日（日）に開催されました。

公園の間伐材を利用した「木工クラフト体験」や人と自然の博物館と連携で行った「恐竜のお話とアンモナイトレプリカづくり」、地域の特産品を販売する「軽トラ市」や「丹波うまいもん市」など、「食」「森」「楽」「恐竜」などのテーマに合わせたイベントが行われ、多くのお客さんで、とても賑やかなお祭りとなりました。

また、公園の開園10周年を迎え、10周年記念セレモニーも同時に開催しました。

〇来場者：6,323人



木工クラフト体験



開園10周年記念植樹



会場の様子



丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし

新 ナイトパークの開催【丹波並木道中央公園】

夜の涼しい公園を楽しむ「ナイトパーク」を実施しました。ひるのプログラムでは「プール遊び」「あんどん作り体験」を行い、よるのプログラムでは「屋台コーナー」や「あんどん展示」を行いました。

○開催日：8月11日（金・祝）

ひるのプログラム 11時～16時、よるのプログラム17時～20時

○来場者：1,457人



プール遊び



あんどん作り体験



屋台コーナー



あんどん展示

継 30周年記念ゴールデンウィークフェスタ2017開催【丹波年輪の里】

親子で協力してマイ箸を作る「親子でつくる木工教室」や、竹とんぼ名人に教えてもらう「竹とんぼ作り教室」、想像力をはたらかせて色々なものを作る「端材で遊ぼう!」、木工家たちが丹精込めて制作した木の椅子が大集合する「座っ展2017」、木工作家たちによる展示販売を行う「丹波ウッドワーカーズクラフト」など、丹波地域周辺で活動する木工作家のPRの後押しとなるイベントを開催しました。

来場者は8日間で14,819人と、多くの地域の方との文化交流が行われました。

○開催日：4月29日（土）～5月7日（日）※5月1日（月）は休館日



フリーマーケット会場の様子



丹波ウッドワーカーズクラフト



親子でつくる木工教室



座っ展2017

国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの開催

丹波の森公苑では丹波地域の里山に国蝶オオムラサキの舞う姿を取り戻すべく、オオムラサキの飼育、放蝶をはじめ、小学校などでの飼育指導を行っています。

今夏、“オオムラサキの舞う里山を描こう！”をテーマに小学生を対象として実施した「国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト」は、第2回目の取組みとなり、学校単位での参画が増えるなど、その裾野の広がりが感じられ、環境学習の成果が見られました。（丹波地域の25の小学校から90作品の応募）。

また、寄せられた作品には、オオムラサキが里山に舞う姿が、生き生きとした色使いで描かれていました。子ども達が描いた作品をできるだけ多くの方に見てもらおうとともに、この取組みを広く知ってもらうため、篠山市1カ所（篠山市立中央図書館）、丹波市2カ所（ゆめタウン丹波、丹波の森公苑）の計3カ所でオオムラサキの絵画作品展を実施しました。

今後も、子ども達の思いが届き、国蝶オオムラサキが舞う里山が増えていく取り組みを続けていきます。

○選考委員会：10月26日（木） ○展覧会：11月1日（水）～



国蝶オオムラサキの舞う里山
イメージ画コンテスト最優秀作品



展覧会の様子

里山コンサート開催【ささやまの森公園】

里山コンサートを野外のささもりステージで行う予定でしたが、あいにくの雨模様となり森の道場での開催となりました。澤田佳代子さんによる二胡演奏や演奏グループ「すずらん」によるオカリナ演奏では、曲目「君に恋してる」や「コンドルは飛んでいく」など合わせて14曲の演奏がありました。来場者からは「里山の自然の中で、ゆっくりとしたひと時を過ごすことができました」と好評をいただきました。

○開催日：7月9日（日）

○入場者：66人



二胡の演奏

「さわってみ 丹波いきもの大集合」の開催

丹波の森公園では丹波地域の里山に国蝶オオムラサキの舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代につなげていくため、準絶滅危惧種であるオオムラサキの飼育に取り組んでいます。

今夏、地域のショッピングセンター（ゆめタウン丹波）を会場として、丹波地域子ども達と保護者を対象に、オオムラサキを中心として、ドジョウ、イモリといった自然の生物に直接触ってもらい、丹波地域の生態等について幅広く学ぶ機会を設けました。

丹波の森公園の他、兵庫県立人と自然の博物館、動物や虫等の保護活動に取り組む市民団体「兵庫丹波オオムラサキの会」、「丹波地域のホトケドジョウを守る会」と合同で初めて企画しました。

会場の「タッチコーナー」では、蚊帳の中のオオムラサキやナナフシなどの昆虫や、ミニプール内のアカハライモリ等、約20種類のいきものに親しむことができ、家族連れを中心に2日間で450人が参加。実際に手で触れ、実物が目の前で動く迫力に子ども達の大きな歓声が響きました。

○開催日：7月8日（土）、9日（日）



タッチコーナー（オオムラサキ）



タッチコーナー（アカハライモリ）



オオクワガタの模型にびっくり！

生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざし事業を取り組みました。

丹波OB大学・大学院生が地域で活躍！

丹波OB大学では、地域実践の日（7月12日（水））を設定し、管内7カ所の事業所等で、受講生が福祉ボランティア活動や清掃作業を行いました。

丹波OB大学大学院では、1年生は篠山市の大山地域を取材し、地域の宝物を紹介すべくミニコミ誌を作成中です。ミニコミ誌作成のスキルも専門家を招いて学びました。

2年生は、丹波市の観光振興に資するため、伊能忠敬の歩いた道を中心とした観光マップを作成中です。

6月～8月にかけて度重なるフィールドワークに出かけ観光資源の発掘を行ったり、実際に測量してみました。

活動の中で学んだことを活かして、丹波市立春日部小学校の6年生を対象に「丹波の伊能さん」と題した授業を行うなどの地域活動を展開しました。



篠山城二の丸庭園での清掃作業



フィールドワーク（大学院1年生）



フィールドワーク（大学院2年生）

講座「丹波学」 権力者が認めた丹波の森～歴史から丹波の魅力を探る～

丹波の様々な技術や資源は古くから日本各地で広く認められてきたという史実がありますが、現在ではあまり知られていません。そこで、平成29年度の講座「丹波学」では、時代区分や分野を限定せず、丹波の優れた技術や豊かな資源にかかわりのある歴史にスポットを当て、改めて丹波の魅力について考えることをテーマとする講座を開きました。

- 開講日：8月26日（土）、9月9日（土）、
9月30日（土）、10月21日（土）、
12月16日（土）の5回
- 場 所：丹波の森公苑 多目的ルーム
- 受講者：119人



講座「丹波学」の様子

丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演の実施

丹波の森子どもミュージカル体験塾では、7月20日（木）から11月3日（金）まで、全部で17回のレッスンを行い、丹波地域の小・中学生及び高校生32人の子どもたちが、劇団ウエスト（豊中市）の劇団員による指導を受けました。きびきびとしたダンス、ホールに響き渡る歌声、感情の込められた演技、そのどれからも、子どもたちの成長が感じられました。見る方に感動を与えるステージを繰り広げることができました。

- 開催日：11月4日（土）
2回公演（1回目 10:30 開演、2回目 13:30 開演）
- 場 所：丹波の森公苑ホール
- 出 演：
平成29年度丹波の森子どもミュージカル体験塾生（32名）
劇団ウエストの劇団員
- 演 目：スモーキーバレエ
- 入場者：445人



子どもミュージカル発表公演

丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

子どもの健やかな成長とところ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし」（全10集）を活用し、話し聞かせる活動を行っているサークルに、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成を行いました。

併せて、会員の技術向上と情報交換の場として会員同士の交流研修会を11月7日（火）に、丹波市立新井小学校で行いました。



語り部サークル活動の様子
（丹波市立新井小学校）

芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざし事業を展開しました。

【 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2017を開催

23回目の開催となる今年は、「森に広がる源流の響き」をテーマに、ヴァイオリン奏者の伊左治道生さんがフランスを務め、秋の丹波を舞台に多彩なコンサートを開催しました。

○ オープニング・サロンコンサート

「弦の脈動」と題し、バロック・ヴァイオリン、リュート&19世紀ギター、ヴィオラ・ダ・ガンバ、テノールが、弦楽器と歌の構成でシューベルトの歌曲とヴェネツィア民謡等のバロック音楽を中心としたコンサートを開催しました。

開催日：9月9日（土）

場 所：お菓子の里丹波ミオール館

入場者：201人



オープニング・サロンコンサート

○ ガラ・コンサート

「バロックの響 スペインの声 シューベルトの心」と題し、オーディションで選抜されたフライブルク音楽大学（ドイツ）の学生で、バリトン歌手のフランツェスク・オルテガ・イ・マルティ氏を招聘し、音楽を通した国際交流を図るとともに、古楽器と現代楽器の両方の響きを味わい音楽の源に思いを馳せました。

開催日：11月11日（土）

場 所：丹波の森公苑ホール

入場者：422人



ガラ・コンサート

○ 街角コンサート

丹波各地の公共施設を会場として、地域の特色を生かしたコンサートを10カ所で開催しました。

○ ふるさと音楽ひろば

丹波地域の小学校4校に音楽家が出向き、間近でプロの演奏が鑑賞できる機会を提供し、子どもたちとワークショップを行いました。



ふるさと音楽ひろば

○ キン・コン・カン・コンサート

丹波地域の中学校・高等学校2校に音楽家が出向き、演奏会を行いました。

○ 被災地への支援活動

各コンサート会場では、東日本大震災の被災地の小学校に楽器を贈るため、募金を行いました。

劇団かかし座による影絵劇「魔法つかいのおとぎばなし」を開催

永年にわたり良質な公演を行っていることで定評のある現代影絵の専門劇団を招いての公演を開催しました。

来場者の多くは親子同伴であり、劇団かかし座の巧みな演技により、躍動感あふれる影絵の世界を親子でじっくり楽しんでいただくことができました。

また、公演終了後に行われたバックヤードツアーでは、「光と影の手遊び」と題し、光と影を用いて自分の手と体を使って動物作りを体験しました。劇団員の先導のもと、参加者が満足のいく体験を行うことができました。

○開催日時：8月19日（土）

2回公演（1回目 11:00 開演、2回目 14:00 開演）

○場 所：丹波の森公苑 多目的ルーム

○入 場 者：280人



影絵劇「魔法つかいとおとぎばなし」

第30回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）開催【丹波年輪の里】

丹波の森ウッドクラフト展は、今年度で記念すべき第30回を迎えた全国公募展です。

一般の部は全国26の都道府県から94点、ジュニアの部では111点の作品の応募があり、今年も多くの方々から、木に親しみ、自らの手でものを作り出す創作の喜びあふれる作品の出品がありました。

また、展示会には一般の部4,871人、ジュニアの部736人、計5,607人の来場者があり、木の温もりや手作りの良さを再発見していただく機会にもなりました。

木工を楽しみ、また木工作品を鑑賞することは、森や自然環境のことを考えるきっかけにもつながり、そういった「木育」の観点からも、今後ともこの公募展のますますの発展を目指していきます。

○開催日：一般の部：9月17日（日）～10月1日（日）

ジュニアの部：10月22日（日）～11月5日（日）



一般の部 グランプリ作品



ジュニアの部 グランプリ作品

利用者の状況 (2017年11月末現在)

【丹波の森公苑】 216,729 人

【丹波年輪の里】 166,754 人

【ささやまの森公園】 14,901 人

【丹波並木道中央公園】 130,771 人

公益財団法人 兵庫丹波の森協会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600

TEL 0795-73-0933 FAX 0795-72-5164

丹波の森公苑

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600

TEL 0795-72-2127 (代表) FAX 0795-72-5164

URL <http://www.tanba-mori.or.jp/>

E-mail morikoen@hk.sun-ip.or.jp

丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路 102-3

TEL 0795-73-0725 FAX 0795-73-0727

URL <http://nenrin.org/>

E-mail mail@nenrin.org

ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県篠山市川原八幡谷 511-1

TEL 079-557-0045 FAX 079-557-0201

URL <http://www.sasayamanomori.jp/>

E-mail csr@sasayamanomori.jp

丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐 90 番地

TEL 079-594-0990 FAX 079-594-0991

URL <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba>

BLOG <http://namikimichipark.blog.fc2.com/>